

鹿内講師による本セミナー

北海道初開催！

# 専門用語を使わない

## 障がいのある子の『**親なきあと**』の『**お金**』の話

～親として『**行動**』したこと『**サキヨミ**』すべきこと～

入場  
無料

日程 2019年7月3日(水)

時間 開場10:00 開演10:30 終演12:30

事前  
予約制

会場 かでる2・7大ホール(札幌市中央区北2西7)

定員 先着150名様(事前予約制)

※セミナー終了後、後日の個別相談の予約を承ります。(お子様が16～19歳の方を優先とさせていただきます。)

### こんな方必見！ ここに答えがあります！

#### ◆『子どものこと』

- 16～19歳の子がいる(未成年のみの対策あり)  
※2022年4月より18歳で成人となります
- 子どもが成人していても準備できることを知りたい
- 『きょうだい』はいるが頼れない・負担をかけたくない
- 子ども名義の定期預金・不動産がある
- 子どもが『ひとりっ子』

#### ◆『自分のこと』

- 前妻の子がいる
- 夫婦共有の不動産を所有
- シングルマザーの注意点
- 人生100年時代。長生きした時の生活費が心配
- 自分の年金だけで生活できる？

#### ◆『親・兄弟姉妹のこと』

- 親が認知症になったらどうなる？
- 親の土地の上に、自分の家が建っている
- 実家が空き家になっている・空き家になりそう
- 親の介護が始まっている・始まりそう
- 墓と仏壇、どうする？
- 相続税が心配

講師

鹿内  
幸四郎

(しかない こうしろう)



日本相続知財センター本部・札幌 専務理事。

相続知財鑑定士・相続診断士。

親なきあと問題のみならず、相続対策の専門家として、  
セミナー受講者は全国に3万人を超えており、『専門用語を使わない』セミナーとカウンセリングには定評がある。

『争続・あらそうぞく』にならないための『相続の予防医学』を全国に広めている。

ダウン症の娘16歳の父親でもある。

北海道出身。東京在住。

セミナー参加者全員に  
最新版『親心の記録』を  
プレゼント！



◆参加申し込み方法は裏面をご覧ください。

◆主催

一般社団法人 日本相続知財センター札幌

◆後援

(一社)日本相続知財センター本部

(一社)相続知財鑑定士協会

北海道(予定)

(社福)北海道社会福祉協議会(予定)

北海道教育委員会(予定)

札幌市(予定)

# 日本相続知財センター札幌は「親心の記録」を寄贈しています！

## 「親心の記録」とは

障がいを持った子供を持つ親御さんが、「親なきあと」に子供を支援してくれる方々に、子供の情報(身上監護のみ)を書き留めて託すための冊子です。

突然、親がなくなり、子供が一人残される.....といったケースもあるかと思えます。親心の記録を見ることにより、周囲のあたたかいサポートを受けながら、自分らしく生きていけるように「将来の道しるべ」の1つとして、ご活用いただけます。たら幸いです。

障害ある子へ「親心の記録」  
相続知財センター札幌に感謝状



保護者がなくなった後も備えのあるしるしも大切な支援を受けられるように、必要な情報(親心)を記録し、日本相続知財センター札幌に寄贈した。1冊ずつ贈った。21日は道庁別館で、センターの中野幸一理事長が道特別支援学校長会の五十嵐利裕会長から感謝状を受け取った。

中野理事長は「障害があっても安心して人生を全うできる手助けをしたい」、五十嵐会長は「子どもの将来を考えると良い機会になり、道内を中心に寄贈してきた。」と話した。(中野良木)

昨日の改訂を機に、1冊を贈り、昨年12月、道立特別支援学校全60校の児童・生徒計約2,000人に、1冊ずつ贈った。

道立特別支援学校60校・5200人の生徒に親心の記録を寄贈させていただきました。

一般社団法人日本相続知財センター(東京)が、札幌を本拠地として、2010年から無料配布を始めた「親心の記録」が、全国に広がっている。障がいのある子どもを持つ親が、将来の親なきあとに備え、大切な支援を受けられるよう子どもの氏名などを保護者同士の間で、見守り部会が昨年12月に20万部に達した。同センターはさらなる普及を目指し、インターネット上で募集を呼びかけている。(石丸厚子)

父母の死後も支援願  
障害児の  
成育歴を  
記録

## 「親心の記録」全国に拡大

日本相続知財センター  
札幌で10年から配布20万部に

「親心の記録」を待つ  
障がいのある子どもを持つ  
親が、将来の親なきあとに  
備え、大切な支援を受け  
られるよう子どもの氏名  
などを保護者同士の間で、  
見守り部会が昨年12月に  
20万部に達した。同セン  
ターはさらなる普及を旨  
として、インターネット上  
で募集を呼びかけている。

「親心の記録」は、障がいのある子どもを持つ親が、将来の親なきあとに備え、大切な支援を受けられるよう子どもの氏名などを保護者同士の間で、見守り部会が昨年12月に20万部に達した。同センターはさらなる普及を旨として、インターネット上で募集を呼びかけている。

2019年5月現在、配布は30万部になっています。

## 日本相続知財センター®札幌

日本相続知財センター札幌は、創業57年の税理士法人中野会計のグループ会社です。相続対策に高い専門性を持ち、年間600件以上の相談を承っています。また日本相続センターグループは、全国に43の支部がある全国区の組織です。



# お申し込みは 2 つの方法から選べます。

オススメ

## ①WEBで

お申込みフォームから簡単に申込できます。

日本相続知財センター札幌

携帯電話にかざすだけ



[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/w2ly0](https://peraichi.com/landing_pages/view/w2ly0)

## ②ファックスで

氏名

お子様の年齢

連絡先(電話orメール)

参加人数

※連絡先は、電話かメールかご希望の連絡先をご記入ください。

上記項目をご記入の上、下記番号へファックスください

FAX: 011-204-7717

日本相続知財センター®札幌

0120-750-279

電話: 011-204-8181  
Mail: info@yukari.co.jp

